

会 議 録

1 会議名

令和7年度第10回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

（1）地域独自の予算事業の一覧について

○協議事項（公開）

（1）安塚区地域協議会だより（第41号）の発行について

○自主的審議事項

（1）自主的審議事項について

○その他（公開）

（1）次回開催日時の決定

（2）市からの連絡事項（区内の行事予定ほか）

3 開催日時

令和8年2月24日（火）午後6時00分から午後7時10分まで

4 開催場所

安塚コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：池田（正）委員、池田（康）委員、和泉委員、岩崎委員、新保副会長、滝沢委員、中村委員、横尾委員、吉野会長

・事務局：安塚区総合事務所 今井所長、井部次長、野口市民生活・福祉グループ長 兼教育・文化グループ長、保高地域振興班長、本山会計年度任用職員

8 発言の内容（要旨）

【吉野会長】

・会議の開会を宣言

- ・秋山委員、松野委員、山岸委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

本日の会議録は、内規により私に対応する。

それでは、議事に移る。

次第2：報告事項（1）「地域独自の予算事業の一覧について」事務局が説明する。

【保高班長】

（資料No.1により説明）

【吉野会長】

ただ今の説明に質問はあるか。

【池田（康）委員】

今、補助金と言われたが、予算額11,695千円が補助額ということか。

【保高班長】

事業一覧の欄外になるが、総事業費①が提案された事業予算の全体の額であり、予算額②が市からの補助金の額となる。①総事業費から②予算額を引いたものが各団体の自己負担額となる。

【吉野会長】

他に質問等はあるか。

なければ、「（1）地域独自の予算事業の一覧について」の報告は終了する。

次に、次第3：協議事項「（1）安塚区地域協議会だより（第41号）の発行について」議事を進める。編集委員がまとめた案を事務局が説明する。

【保高班長】

（資料No.2により説明）

今回、通路側の副会長チームの皆さんが編集委員としてまとめてくださった。今日、皆さん全員で点検いただいて、内容を確定していただければ、印刷して3月25日の町内会長便で各世帯に配布する予定である。この会議が内容の点検、修正の最後の機会になるので、ご意見をいただきたい。なお、字数が多いため、何か加えようとする、何か削らせていただく必要がある。ご提案の際には、そのことも考慮していただきたい。

【吉野会長】

今の説明に皆さんからご意見はあるか。

【池田（康）委員】

「大・浦・安」の委員研修会が11月に開催されたことを和泉委員が記事にしてくださいましたが、私はこれを読む安塚区の人の中に、中郷区のことを知っている人はほとんどいないのではないかと思います。私自身もあまり行ったことがない。なぜ、中郷区の地域協議会の会長をお招きして講演いただいたか、また、中郷区とはどんなところかなども入れたほうがよいのではないかと。

【吉野会長】

和泉委員の意見はどうか。

【和泉委員】

たよりの目的は、実施した内容を地域の皆さんに報告することが大義なので、講演内容に触れてそこに私の意見を入れた。私は中郷区の紹介をするなら別の場面でも良いと思う。今回は実施した内容を書けばよいと思って、このような文面にした。皆さんから意見があればお願いしたい。

【吉野会長】

中郷区がどのような場所かはそれほど知らないと思う。

実は、講師を呼ぶに当たっては経緯があり、当初、私は新潟大学の副学長を呼びたいと思っていたが、いろいろな条件や都合が合わなくて無理だと分かった。

次に、常日頃から非常に一生懸命に頑張っていて、文部科学大臣表彰も受けている中郷区の地域協議会長に講師をお願いしたら、話がトントン拍子に進んだ訳である。内容的には、地域協議会と地域団体の連携をテーマにお願いしたので、地域協議会なのか地域自治組織なのかが一緒になったような話でもあったが、刺激を与えられた実感があつた。

他に何かあるか。

【新保副会長】

これは、和泉委員がおっしゃるように、和泉委員の気持ちというか、実施内容を詳細に述べられているので、これで良いのではないかと。今回は中郷区の紹介ではないし、要点もきちっと押さえてあると思う。

【池田（康）委員】

一つだけお願いしたい。

7行目に「全ての皆さんの声を聴くため・・・」とあるが、研修会の時の資料は、小

学生以上からのアンケートと書いてあったので、全ての皆さんではなく、小学生以上と
したらどうか。

【和泉委員】

それでは、「全て」を削除するか。

【吉野会長】

このままで良いのではないか。

【和泉委員】

「全て」を削除してもよい。

【吉野会長】

全ての皆さんのという目的をもってWebアンケートを行ったということなので、池
田（康）委員このままでどうか。

【池田（康）委員】

このままで良い。

【保高班長】

修正なしとの決定で良いか。

【吉野会長】

特に修正等はないか。

（一同なし）

特になければ「（1）安塚区地域協議会だより（第41号）の発行について」の協議
は終了する。

次に、次第4：自主的審議事項に議事を進める。

今回は、私の勇み足みたいところがあった。

自主的審議事項に関して、旧安塚中学校の利活用の案件が、現在、中途半端な形で休
止している。しばらくは資産活用課が行うプロポーザルでの事業者募集の成り行きを
見守りながら休止することとしているが、私は、このまま漫然と残り2年の任期を過
したのでは、地域協議会の責務に反すると考え、何か新しい課題を取り上げたほうが良
いのではないかと考えて提案した。大半の方の賛意は得られたので、何か良い課題があ
れば提案してほしいと、宿題という形にして、今日の会議に意見をいただくことにして
ある。

提案した際に私としては、昨年度の初回の会議で、前の期の協議会委員からの引継ぎ

事項だったリバーサイドロードの管理と整備、地域活性化の方向性についての2点に関し、今まで置き去りにしてきたことが気がかりだったので、このようなものもありますよと例示させてもらった。

については、皆さんの提案をもって議論し、できれば3月の地域協議会で決定し、4月から取り組むようなスケジュール感で進められたらと思っているので、皆さんのご意見をいただきたい。

【和泉委員】

この引継ぎ事項については賛成である。いろいろとやってきたことが形になったということである。

ただ、策定してから年数も経っているし、妥当性について再検討したほうが良いと思う。年数も経っているし、ましてや新しい委員による新しいチームであるので、新しいチームで揉んで方針を決めたほうが良い。

また、方針が決まり、揉んだ結果が同じだったならそれでも良いが、その下の構成要素については再検討して、具体的に実施する内容を議論して、決定したほうが良いのではないかと。リバーサイドだけに特化するのではなく、そういった形で大きくやっていけばよいと思う。

【吉野会長】

リバーサイドについて事務局から、現状について説明していただく。

【保高班長】

(参考資料1-①により説明)

前回の地域協議会で、リバーサイドロードの活用と振興のことが話し合われていた。参考までに、第5期安塚区地域協議会委員の皆さんが提出した「リバーサイドロードの整備と管理の促進について」という意見書及びそれに対する市の回答文に記載された内容に関する、現在の対応状況を資料1-①にまとめた。参考資料1-②については当時の意見書及び回答書の写しなので見比べていただきたい。

資料1-①については上段に市が行っている道路施設の維持管理事業、下の段にはNPO雪のふるさと安塚が主となって行っているイベント事業などのソフト事業を掲載した。それぞれの区分けはあるものの意見書によってご提案いただいた事項の大部分が、現在では実現していることを理解いただけるものと思う。

事務局として、このことをもってリバーサイドロードの活用に関する協議は不要だ

と申し上げるものではないが、この状況を踏まえたうえで、この後の自主的審議項の検討を進めていただければと思っている。

【吉野会長】

現状、リバーサイドについては、NPOさんが事業主体となっていていろいろな課題に取り組んでおられたり、或いは業者に委託して桜の枝や除草等をやっていたりしている。

先回、秋山委員からは、それを使ってマラソン大会でも行ったらどうかという話もあったが、それは議論としては成り立つものの、やるとなったら誰が事業主体になってくれるかを交渉しなければいけない。実施するのならきちんとした実行委員会などをつくって進めないと、うまくいかないと思う。

リバーサイドロードに関しては皆さんどうか。

【池田（正）委員】

リバーサイドロードの桜を見に来てくれる人は、増えているのか、減っているのか。

【保高班長】

観桜会についていえば、コロナ禍の時期を挟んで去年の春に久々に復活し、1年目だった。去年の実績は調べられるものの、その前との比較となると、現時点でNPOとの情報共有はしていない。

【吉野会長】

以前、観桜会は、松崎・板尾集落の方々が主催していたが、高齢化やいろいろな問題があって、また感染症などもあって手を引いた。しかし、そのままにしておけないので、NPOが頑張って復活させたというのが経緯ではないか。

【池田（正）委員】

このような事業は、続けていくことがなかなか大変である。

【和泉委員】

確認である。

リバーサイドロードの活用策を自主的審議事項でやっていくことを問われているのか、引継ぎ事項である「安塚区における地域活性化の方向性について」を決めていくのか、どちらか。

【吉野会長】

それは、私の一提案である。

リバーサイドに関しては、第5期地域協議会による意見書に沿って、多くのことが改善されている。将来、安塚をどのような地域にしたいのかと、ある意味でのビジョンを含めたような形も、「活性化の方向性」の中から見取れる。それはあくまでも私の提案であって、一例として提案した。それを引継ぎ事項として受け取っていながら、この2年間、話し合っただけでなかったから、この際、自主的審議事項に挙げて、取り組んだらどうかというのが私の提案である。

【和泉委員】

ならばもう一回、根本に立ち返って、実施内容にはリバーサイドと具体的に名前が出てしまっているが、もう一度、本当に妥当なのかという検討をすべきではないか。リバーサイドではなく、他にもあるかも知れない。

【吉野会長】

その意見を皆さんからいただきたい。

【和泉委員】

では、私はリバーサイドというのであれば、その部分は反対である。

【吉野会長】

リバーサイドについては今、説明があったとおり、大部分は前期の地域協議会から出された意見書に沿って改善がされているし、私自身は、これはこれで解決したものとして良いかと思っている。

皆さんから何か、新しい課題があるということなら、私が挙げた「活性化の方向性」のことも含めて、議論していただきたいと思っているがどうか。

【池田（正）委員】

リバーサイドの名称を変えらるとなると、問題が出てくる。

【池田（康）委員】

名称を変えるということではない。

【新保副会長】

この場所で、委員だけで何かないか、何かいい提案はないかと言っているけれどもよいだろうし、また、委員が提案しながら議論するのが筋なのだろうが、私は、地域の大勢の人の意見を聞いてからそれを抜粋してまとめて、どれに取り組むか、一番に意見が多いことをまずは参考にしなければいけないのではないかと思う。

リバーサイドに関しても第5期委員の3年目に住民のアンケートを取って、それか

ら最終の4年目までにこれを意見書としてまとめて提出し、提案したことが実現した。すぐに決めなければいけない、3月中に決めなければいけないというのは会長、急ぎ過ぎなのではないか。

【吉野会長】

ちょっと早送りになっているかも知れないが、前回のアンケート調査みたいなものは将来に渡って住みやすい安塚をどうするかという主題があって、それに沿ってアンケートを作って調査をした。それがなぜか、どこかの時点でリバーサイドということに変わって行ってしまった。私は、なかなかビジョンというか、将来の住みやすい安塚のために何をすべきかが、自主的審議に生かすことができなかったという反省を持っている。

【和泉委員】

先ほど私が述べた意見については、どう思われるか。

【吉野会長】

漠然としてちょっと分からない。

【和泉委員】

もう一度申し上げるが、安塚区の地域活性化に向けてという方針は決まっている。その方針を見直さないかという意見である。年数も経っているし、もう一度、新しい面子で、この内容に妥当性があるか再検討する必要があるのではないか。検討した結果、同じならOKだし、何かを足し込んで変えるのならば、それは入れるべきではないか。それで方針が決まる。

決まったら、具体的な構成要素は皆さんから意見をもらって、リバーサイドなり他のことなりを具体的に組み込んでいけばよいのではないか。

【吉野会長】

活性化の方向性というのは、地域政策課から地域協議会に対して投げかけられて、どの区の地域協議会でも提出した。それはいわゆる先行き、安塚の将来をどう見るかという方向性なので、私もおっしゃることはよく分かるしそのとおりだと思うが、全部をひっくり返すことはできないとしても、もう一回、一から出直してみて、将来も住みやすい安塚であるためにはどうしたら良いのかという観点で提案を申し上げたつもりでいる。

【和泉委員】

自治会長さんとの懇談も一つの手段としてあるのかも知れない。前回から年数も経っていて、その時の要望と今の要望は違っているかも知れないし、生の声を聴くのもそこで反映させるのも、やり方の一つかも知れない。ぜひ、見直し、再検討をお願いしたい。

【吉野会長】

他に、皆さんから何か、課題として持ち寄られたものはあるか。

【中村委員】

リバーサイドについては、前期の地域協議会で意見書を出して、実施主体が実施している段階で前に進んだと認識している。なので、これから地域協議会でやるとすればそれを検証する作業になると思う。

まだ始まったばかり、桜まつりは復活してまだ1回、開催されただけで、それもあいにくの雨降りだった。屋外のイベントは天気左右されるので、その数字だけで結論を下す訳にはいかないと思う。あと1、2年程度、様子を見ながら、そのあとで検証というのが普通ではないかと思っている。

我々の任期もあるので、やるとすれば4年目の時に検証作業をするのが普通の流れかと思う。和泉委員がアンケートのことで触れられたが、地域協議会だよりも書かれていた。アンケートを取った時にはリバーサイドのことばかりではなくて、他の課題も地域協議会の中で話し合われていたもので、その辺りから掘り起こして、リバーサイドではないところに着目するかどうかを考えるくらいのやり方が良いのではないかと思っている。「住みやすい安塚の在り方」から始めると、ちょっと戻り過ぎのような気もするし、それを検証するのはどうなのか。時期的には何年かに区切って考えるとか、それくらいのペースが良いような気がするので、皆さんの総意が、今、検討しましょうよということならそれに従うが、私はそこから掘り返すより、立ち戻るのであればアンケートのところに帰るのが良いと思う。

【吉野会長】

おっしゃることは分かるが、アンケートの主題はあくまでも住みやすい安塚にするためにはどうするかという内容で、住民の皆さんから集めさせていただいた。従って、アンケートの設問もそこを起点にして、自分たちが作った。私も委員の一人として、その結果を見てそっちの方向へ向かうのかと思って見ていたが、なぜかリバーサイドの方へ絞られてしまった。そのような点に反省もあったし、これを第6期の第1回地

域協議会に引き継いでいる。それなのにここまで、何の議論もしてこなかったことを私もちよっと気がかりにしていたので、たまたま例として提案させてもらった。いずれにしても、現在、進められている地域自治プロジェクトの中では、2年後にはビジョンをつくりなさいと義務付けされる。私たちがビジョンをつくる力、マンパワーがあるのかと考えた時に、とにかく、みんなで今、残りの2年で何とか、次の方々がそれをつくりやすい環境をつくればという下心もあった。そういう意味で提案させてもらった。

委員も代わった訳だから、アンケートをもう一度、我々で検証してみてもよいのではないかと思っている。

【和泉委員】

この方針はアンケートをする前に決めたものか。その方針に基づいてアンケートを実施したものか。

【吉野会長】

そうだ。

【和泉委員】

ということは、この方針も見直せるか。

【吉野会長】

この方針は、アンケートを基に決めたものではなく、机上で決めた。また、その方針に対して、そこに導くように地域政策課からもいろいろと指導されていた。

【和泉委員】

これは市の方からの提案か。

【吉野会長】

何となく。

【和泉委員】

あまり変えないほうが良いのか。何か漠然としている。「ふれあいのあるまちづくり・・・」とか「住みやすい地域・・・」とか。

【中村委員】

そこについては結構、議論があって、具体的過ぎるとそれに縛られることになるので、見ようによっては曖昧に見えるような文言になった記憶がある。なんだかんだとやり合ったうえでそうなった。

【和泉委員】

その、なんだかんだというのは、皆さんで意見を言い合ったということか。

【中村委員】

そうだ。

【吉野会長】

私は、反対派だった。

【新保副会長】

たしか、四つのグループに分けて話し合ったという記憶がある。

【和泉委員】

方針は基準になるものであり幹だから、これに基づいて枝が分かれていくので、もし可能なら、もう一回見直ししていただいても良いかと思う。

【吉野会長】

それを活性化の方向性という形で自主的審議事項に挙げていくということで、皆さん、今日の段階ではそれでよろしいか。他にもあれば、それも併せて一緒に議論したいと思う。どちらにしろ、安塚区全体を見たときに、私には、どんなに小さくなくても持続可能性があって、安心して住み続けられる地域づくりを一つのコンセプトに、皆が共有しないと上手くいかないという頭がある。だから方向性というか、そこら辺も含めてもう一度、一から皆さんで見直す方向で考えていきたいと思うが、来月の地域協議会できちっとまとめたいと思うので、宿題で申し訳ないのだが、どのようにやったらよいか、皆さんからご意見を賜りたい。今日、ここでどうこう言っても始まらないので、来月、もう一度、話し合いたいと思う。よろしくお願ひしたい。

【中村委員】

根本的なところから考え直すというのはよいと思うが、それを土台に、住民の皆さんから広く取ったアンケートを参考にするのがよいと私は思っているので、前回まとめた資料を配ってもらいなりして、それを見ながら進めるのが良いと思うがどうか。

【吉野会長】

多分、アンケートをまとめたものは皆さんのお手元に行っているのではないか。

【和泉委員】

私が要望して、抜粋だったかと思うがいただいた。

【吉野会長】

それも含めて、来月、資料として出させていただきます。

【保高班長】

今回の会議日程のご案内と一緒にアンケート資料をお配りしたい。

【吉野会長】

では、そのような方向で、次回、皆さんと揉んでみたいと思う。

他になければ、「(1) 自主的審議事項について」の協議を終了する。

次に次第5：その他に移る。

(1) 次回の地域協議会の開催日を確認する。

定例の第4火曜日は3月24日である。このことについて中村委員から要望があると聞いている。中村委員、どうぞ。

【中村委員】

現在、地域協議会は第4火曜日の夜ということで定着しているが、この日に決めたのは私の1期目の頃で、その時に私の仕事の都合を反映して決めてもらった気がする。ここで、更に私のわがままを言って申し訳ないのだが、私は新年度以降、月末にかけて忙しくなってくる。可能ならばどこかのタイミングから、3週目か2週目に変えていただけるとありがたい。

【吉野会長】

皆さんいかがか。4月以降、第3火曜日でどうか。

【和泉委員】

欠席者もいるので、来月の会議で決めたらどうか。

【吉野会長】

では来月、決めさせていただきます。

【中村委員】

事務局の都合はどうか。

【保高班長】

事務局は、どこの週でも問題はない。

【吉野会長】

来月の地域協議会で、皆さんからご意見を聞いて決定したい。

次に(2)、市からの連絡事項を事務局から願います。

【井部次長】

今後の行事予定をお知らせする。

今週の27日（金）から3月24日（火）まで、上越市議会令和8年第1回定例会が開催される。詳しくは、お配りした資料No.2に、議会日程が記載されているのでそちらをご覧ください。

続いて、28日（土）には「第15回灯の回廊やすづかキャンドルロード」が開催され、地域独自の予算事業である、「山のうえの雪まつり」がキューピットバレイスキー場で開催される。午後8時から雪上花火が行われるので、大勢の方々からお越しいただきたい。

次に3月14日（土）に開催される、「第15回レルヒカップスキー&スノーボード大会」について、先回の会議でもお知らせしたが、参加申し込みが今月28日（土）までとなっている。気軽に参加できる大会なので、委員の皆様、ご家族、お知り合いの方にもお声がけいただきたい。

最後に、今月16日（月）から行っている、令和8年度の市民税・県民税の申告相談は、3月16日（月）までとなっている。申告が必要な方は、お早めをお願いしたい。

【吉野会長】

以上で第10回安塚区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-592-2003（内線23）

E-mail：yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。